

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年 5月 9日

事業所名 運動・言語療育Schoolあみ吹田校 保護者等数(児童数) 55 回収数 40 割合 72.7 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	65.9%	44.4%	0.0%	4.9%	定員人数が分からない	利用契約時によりわかりやすいよう工夫を施していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	82.9%	0.0%	0.0%	17.1%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	78.0%	9.4%	2.4%	12.2%	普段の様子が分からないのでなんとも言えない。	今後はSNS等での発信も行い、より見える化できるよう努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	85.4%	2.9%	0.0%	12.2%		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	95.1%	0.0%	0.0%	4.9%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	90.2%	0.0%	0.0%	9.8%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	97.6%	0.0%	0.0%	2.4%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	85.4%	5.7%	0.0%	9.8%		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	26.8%	18.2%	22.0%	46.3%	園での交流があるため、十分だと思います。	児童の負担になりすぎないように、可能な範囲での交流を実施していきます。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	制度改定について内容がよくわからなかった。	事前に時間を設け、しっかりと説明ができるよう今後の改善点として真摯に受け止めていきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	24.4%	50.0%	17.1%	46.3%	発達検査を踏まえた報告はありました。	心理士による発達検査も実施しておりますので、そちらを踏まえたご報告と対策を講じていけるよう工夫して参ります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	85.4%	17.1%	0.0%	0.0%	送迎時に支援内容について報告があるので分かりやすい。	今後も、端的かつ詳細にお伝えできるよう努めていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	75.6%	12.9%	0.0%	14.6%	1年で2度状況の説明がありました。	いつでも相談にのれるような体制を整えて参ります。
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	9.8%	75.0%	36.6%	46.3%	保護者同士の交流があると心強い反面、様々なところで交流があると負担が大きいため現状で満足。	現段階では保護者会の実施は計画してはおりませんが、ご希望の方向けに保護者様同士や各支援員との交流の場を設けられればと考えています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	80.5%	6.1%	0.0%	14.6%	相談ものつてくれますし、メールのお返事も早いので助かっております。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	80.5%	15.2%	2.4%	4.9%	LINE等で連絡ができるので助かる。	SNS等を活用した連絡手段を引き続き整備いたします。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	34.1%	21.4%	12.2%	46.3%	アプリ登録はあるがまだ活用がない。	早急な整備を行い、いち早く情報発信ができるよう整備して参ります。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	82.9%	2.9%	0.0%	14.6%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	51.2%	19.0%	2.4%	36.6%	・訓練の実施の様子はわからない	訓練の様子が伝わるようお知らせやHP上でのご報告を検討して参ります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	31.7%	7.7%	2.4%	63.4%		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	78.0%	25.0%	2.4%	0.0%	通所すると楽しそうですが、できないことがあるとくじけてしまうことがあり、行き渋りもみられた	児童の尊厳を第一とし、「できた」「もっと」に繋がる楽しくて成長できるプログラムを検討していきます。
	23	事業所の支援に満足している	90.2%	10.8%	0.0%	0.0%	写真等で様子が知りたい。	SNSを活用できるよう早急に整備して参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。